

埼玉の植物防疫

発行 2013. 9. No.121
 一般社団法人 埼玉県植物防疫協会
 さいたま市大宮区北袋町1丁目340番地
 埼玉県農業共済会館内
 Tel 048・645・2226 Fax 048・645・2144

目 次

	頁
I 試験情報.....	1
1 キルパー液剤によるキュウリ栽培終了 後のミナミキイロアザミウマ蛹の防除.....農総研病害虫防除技術担当	1
2 ヒメアカホシテントウによるクワシロ カイガラムシの抑制と茶園の回復.....〃 茶業研究所	3
3 雑草イネの発生と防除対策.....〃 水田農業研究所	7
II 協会だより.....	9
平成25年度農薬展示ほ現地設置状況	

I 試験情報

1 キルパー液剤によるキュウリ栽培終了後のミナミキイロアザミウマ蛹の防除

埼玉県農林総合研究センター 病害虫防除技術担当 岩瀬亮三郎

1 はじめに

表1 県内ミナミキイロアザミウマの薬剤感受性

薬剤名	補正死亡率 (%)					(○) 内は採取年月日		
	A市キュウリ (H21.6)		B市キュウリ (H22.11)		C市キュウリ (H23.5)	D町キュウリ (H23.5)	E町キュウリ (H23.11)	
	2鈴幼虫	多発ハウス	少発ハウス					ハウス① ハウス②
スタークリー/アルバリン 顆粒水溶剤	75.7	42.0	25.7	30.7	91.4	35.1	54.8	66.6
ベストガード水溶剤	89.2	32.1	27.2	31.4	97.2	37.5	33.4	40.0
モスピラン水溶剤	26.9	6.9	8.6	13.8	25.4	25.5	13.1	19.0
アドマイヤー顆粒水和剤	87.2	9.2	45.9	58.3	57.2	20.0	29.0	28.0
ダントツ水溶剤	79.4	30.3	72.2	78.4	63.7	51.6	38.1	58.9
アクタラ顆粒水溶剤	53.1	4.8	3.0	8.6	14.0	16.7	30.1	10.9
アグロスリン乳剤	22.7	0.0	87.1	10.3	32.3	26.7	8.8	9.1
スミチオン乳剤	13.3	0.0	7.2	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0
スピノエース顆粒水和剤	87.6	100.0	100.0	96.7	100.0	100.0	38.0	35.4
コテツフロアブル	100.0	68.8	87.1	84.9	97.2	79.4	93.5	96.5
アファーム乳剤	96.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ハチハチ乳剤	95.7	97.6	97.1	97.1	97.3	93.5	67.7	86.7
フレオフロアブル	91.2	23.5	48.1	45.5	91.9	34.2	31.5	16.4

県内では、平成17年にミナミキイロアザミウマが媒介するキュウリ黄化えそ病(MYSV)の発生が初確認された。また、これまでに行った試験結果から、ミナミキイロアザミウマの薬剤感受性低下が確認されており(表1)、黄化えそ病による被害は増加傾向にある。黄化えそ病は栽培初期に感染すると収量に大きく影響するが、抑制作型終了後も土中にミナミキイロアザミウマの蛹が残り、MYSVとともに促成作型へと持ち越された事による被害が問題となっている。そこで、古株枯死を目的として栽培終了後に使用できるキルパー液剤の、土中蛹への防除効果について調査したので報告する。

表2 キルパー液剤による土中のミナミキイロアザミウマ蛹の羽化防止効果

処理区	2齢幼虫接種3日後			処理10日後		
	接種数	幼虫数	死亡数	蛹化数	成虫数	羽化率
キルパー 希釈液	31	1	0	30	0	0%
	32	2	0	30	0	0%
	30	4	0	26	0	0%
水道水	30	2	0	28	9	32%
	32	0	1	31	9	29%
	32	1	1	30	7	23%
無処理	31	2	0	29	17	59%
	35	1	1	33	15	45%
	32	3	0	29	18	62%

表3 枯死株持ち出し後のミナミキイロアザミウマ羽化成虫数

	ミナミキイロアザミウマ寄生数					
	処理前 (12月25日)	10日後 (1月4日)	15日後 (1月9日)	21日後 (1月15日)	27日後 (1月21日)	31日後 (1月25日)
キルパー区	32.4	0	0	0	0	0
無処理区	27.9	2	15	4	1	0

※ 処理前は10葉あたりの成幼虫数、処理後は苗3株の成虫数。

2 試験方法と結果

(1) 室内試験

所内ほ場の土600mlを入れたプラスチック容器(直径15cm、高さ9cm)に、ミナミキイロアザミウマ2齢幼虫をキュウリ葉片とともに入れフタをした。3日後、ほとんどの幼虫が土中で蛹化したところで、110ml(6000L/10a)の水道水またはキルパー液剤100倍希釈液をジョウロで散水した。半日程度風乾した後、黄色粘着板を入れてフタをし、10日後に粘着板への捕殺成虫数を調査した(図1)。

無処理区の羽化率が55.4%であったのに対し、水道水区では28.2%、キルパー液剤区では0%であった。蛹のいる土に一定量の液体を処理することで、窒息によると思われる羽化防止効果が認められ、キルパー液剤を用いることでその効果が高まることがわかった(表2)。

(2) ほ場試験

ミナミキイロアザミウマが発生している栽培中のキュウリ(10月中旬定植)の小型ビニールハウス(面積各30m²)2棟を用いた。12月25日に一方は抜根してハウスを密閉し、もう一方は抜根せずキルパー液剤の50倍希釈液100L(原液で60L/10a)をかん水チューブにより土壤散布し密閉した。処理10日後(図2)に枯死株をほ場外に持ち出し

た後、数日間おきにハウス内にキュウリ苗を置き、苗への寄生成虫数を調査した。

ほ場試験では、枯死株の持ち出し後(処理10日後)以降、抜根+密閉ハウスでは処理21日後まで羽化成虫の苗への寄生がみられたが、キルパー液剤+密閉ハウスでは苗への寄生はまったくみられなかった(表3)。

3 まとめ

今回の結果から、抑制栽培終了時にキルパー液剤の希釈液をかん水チューブにより土壤散布することで、ミナミキイロアザミウマ蛹を防除することが可能と思われた。メーカー資料によるとキルパー液剤を冬期に処理した場合、被覆期間が15~21日、被覆除去から定植までが10~20日間で計25~41日間必要とされているが、栽培体系によってはこの日数が取れないことがある。今回のほ場試験では被覆期間は10日間のみであったが羽化成虫はみられず、ミナミキイロアザミウマ蛹対策としては被覆期間を短縮しても十分な効果が得られる可能性が高い。今後、処理期間を短縮した場合の防除効果や定植後の薬害の有無について検討する予定である。

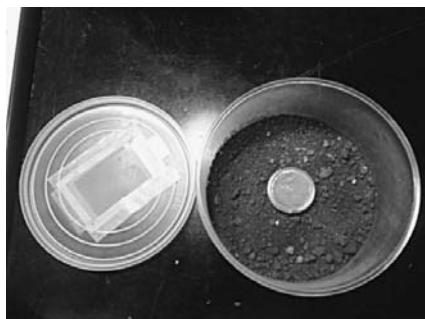


図1 2齢幼虫を接種した容器



図2 キルパー液剤処理10日後のキュウリ



2 ヒメアカホシテントウによるクワシロカイガラムシの抑制と茶園の回復

埼玉県農林総合研究センター茶業研究所 栽培担当 小俣良介

1 はじめに

埼玉県の茶園におけるクワシロカイガラムシ *Pseudaulacaspis pentagona* (Targioni) (以下、クワシロ) の発生および被害は、2005年以降になって急速に拡大し、ほぼ県内茶生産地域全体に広がっています。ところが、当研究所のほ場にでは2007年になってからようやく散見されるようになったものの、今までのところ防除が必要なほ場はわずかで、秋冬期に発生を確認しても、翌年一番茶摘採後には消失してしまうことが観察されています。これは、茶園内に生息する各種天敵類の働きによると考えられます。

本県では、8月中旬以降に茶株が坪状に枯死したり、雄まゆの寄生で枝が白くなっていることで初めてクワシロの発生に気づくことが多いですが、こうした茶園をよく観察するとヒメアカホシテントウ *Chilocorus kuwanae* Silvestri(以下、ヒメアカ)の成虫や幼虫が非常に多く確認されます。これは、チャに寄生するクワシロが埼玉に侵入し、まだクワシロを抑制するとされる各種寄生蜂がほとんど発生していない時点からしばしば確認されます。

本種は茶園においてはツノロウムシ等を捕食することで知られていますが、通常茶園においては散見される程度であり、このような高い生息密度で観察されることはなかったことから、ヒメアカは本県におけるクワシロの主要な天敵の1つと考えられます(図1)。

2 クワシロが初めて発生した茶園におけるヒメアカの発生消長

茶業研究所内の茶園(品種：ふくみどり、5a)では、2008年9月上旬に初めてクワシロの発生が確認されました。茶株摘採面の1か所が枯死し、雄まゆで枝が真っ白になっている状態です。雄まゆ発生程度によるランクは最高位の3でした。茶株内の枝には、前述のようにヒメアカホシテントウ成虫の生息が確認されたため、以後、クワシロの防除対策は実施せずに、定期的に茶株内のヒメアカの発生状況を調査することにしました。2008年9月～10月(各半旬ごとに2～5日)と、翌2009年の5月中旬から6月下旬まで調査を継続しました。

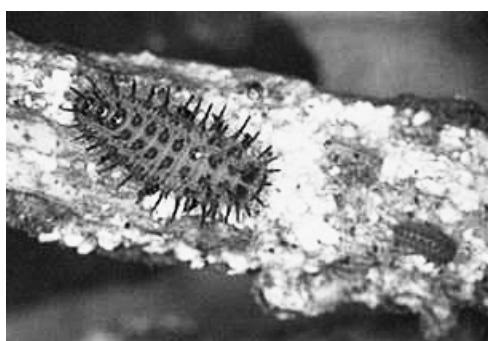


図1 クワシロカイガラムシ寄生枝上のヒメアカホシテントウ成虫(左)と幼虫(右)。
体長3.3-4.9mm(成虫)。

(1) 夏期のクワシロ初確認から秋期におけるヒメアカの発生推移

2008年調査開始から9月中旬までのヒメアカは2頭前後確認され第4半旬をピークになり、以後減少して10月第1半旬には終息しました(図3)。ヒメアカ成虫が観察された時期は、クワシロの第2世代雄まゆ発生時期から第3世代幼虫発生時期の間に相当します。周辺茶園や雑木など調査茶園の外に生息していたヒメアカ個体が餌を求めて、クワシロ初発生部位に集まつたと考えられます。このことは、クワシロの歩行幼虫が、茶園の周囲に移動拡大する時期よりも少し前にヒメアカが寄生部位に集まつてくることになります。秋期のクワシロふ化幼虫がだらだら発生する時期において、十分な個体数のヒメアカが発生すれば、クワシロによる被害抑制につながるものと推察されました。

また、株とともに静置した寄生枝やクワシロ寄生部位から次世代幼虫の出現はなく10月に成虫が終息したことから、茶園外部の越冬場所へ移動したと考えられます。成虫終息後に枯死部位を切除し、株元に静置しました。

(2) 春夏期におけるヒメアカの発生推移

ヒメアカは成虫で越冬することが知られており、茶園周辺の雑木の根元などに集団越冬します。3月下旬になると、冬眠から覚めた成虫がクワシロ寄生部位を探して活動しているのが観察されるようになります(図2)。調査茶園では、2009年5



図2 越冬から覚めたヒメアカホシテントウ成虫。
2003.3.26観察。撮影 所内ほ場(さやまみどり)。当時、所内含む入間市ではクワシロはまだ未発生。

月中旬に2頭前後の幼虫が見られるようになりました。6月第5半旬になると成虫が出現するようになり、第6半旬にはピークとなって終息しました(図4)。第1世代幼虫が成虫になる6月下旬には、寄生部位のクワシロはほぼ消滅し、雄まゆの発生はほとんどみられなくなりました。このとき成虫になったヒメアカ個体は、クワシロが食べ尽くされた場所から、ツノロウムシ幼虫が発生している場所やクワシロが生息している他の場所に移動するものと考えられます。今後、7月から8月末までのヒメアカの発生推移を調査する必要があります。

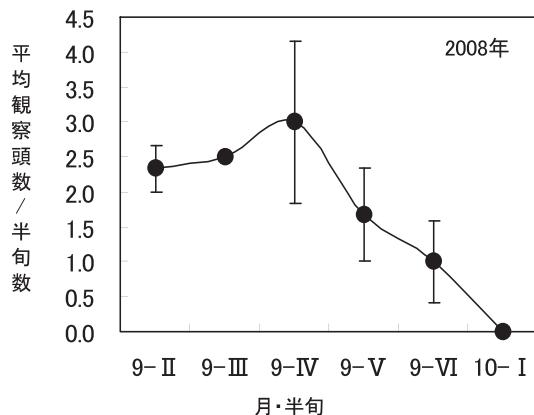


図3 秋期の茶園におけるヒメアカホシテントウ成虫の個体数推移。

数値は半旬ごとに調査個体数を調査日数で平均。垂直棒はSE(n=3~5)。

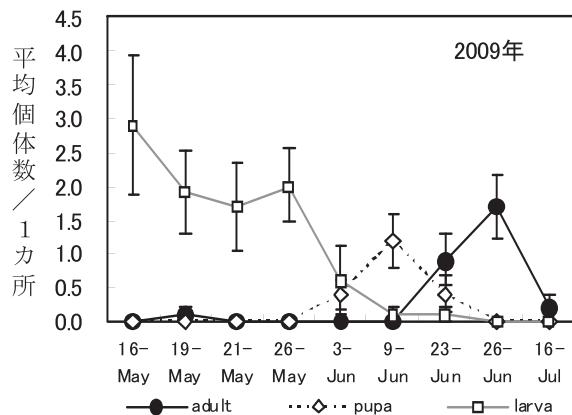


図4 春夏期の茶園IIにおけるヒメアカホシテントウのステージ別個体数推移。

数値は10カ所調査の平均値。垂直棒はSE(n=10)。

3 クワシロによる枯死部位の回復過程

調査茶園の被害部位における枯死枝を2008年10月に切除して株もとに静置し、その後の切除した被害部位の回復過程を観察しました。クワシロ初発生時の枯死部位を切除した後の回復する過程を図5に示しました。被害部位は、ヒメアカが2世代にわたり発生し、とくにクワシロ防除を実施しなくとも2009年9月のクワシロ第3世代の雄まゆ発生程度は0.7となり、前年秋期の発生程度3に比較しほぼ終息しました。

2008年10月に切除したクワシロ枯死部位は、2009年9月になると株元から短い枝が伸び、そのまま硬化して越冬した。2010年5月には、株元から伸びた短い枝から新芽が伸びる様子が見られ、9月になると切除部位の欠損がほぼ埋まる程度に回復し、10月には秋芽が勢いよく伸育して完全に切除部位がほぼ回復しました。クワシロの加害により枯死した部分部を切除してから回復までに丸2年を要することが明らかとなりました。

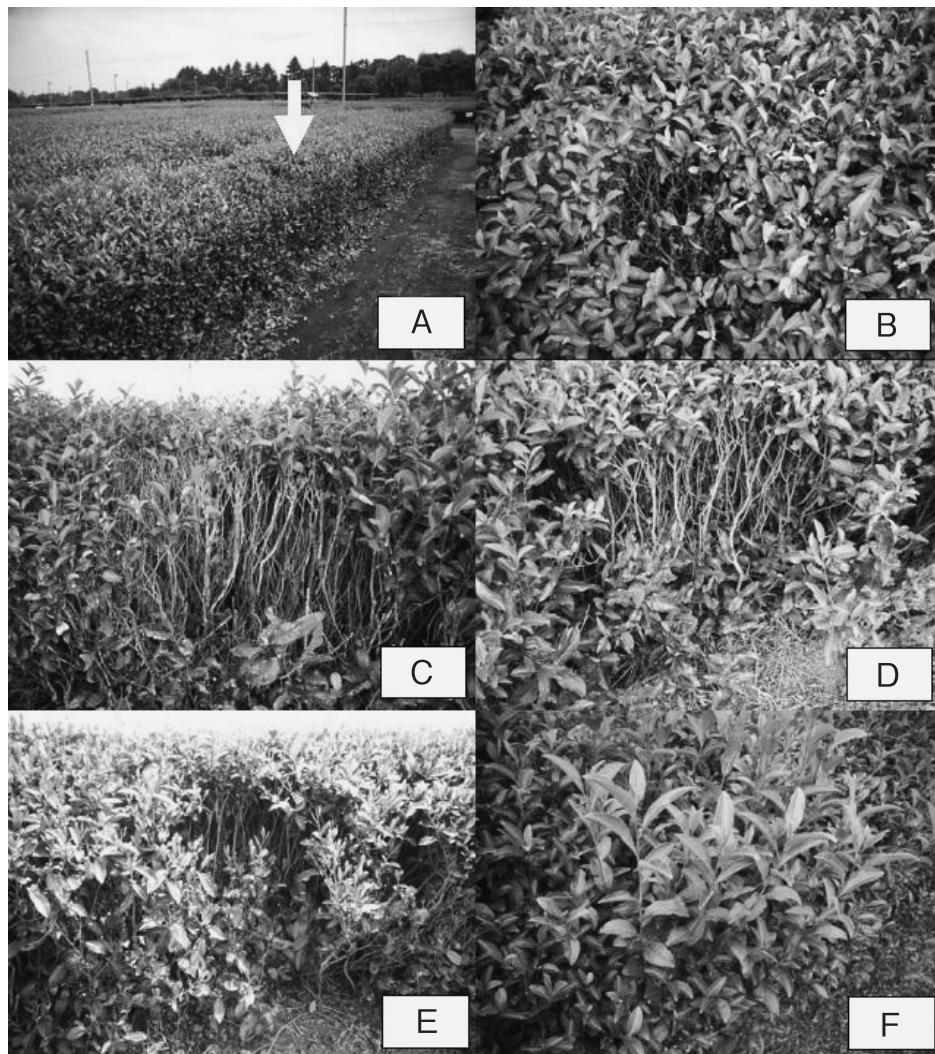


図5 クワシロカイガラムシにより生じた枯死部位の回復過程。

- A : クワシロ初確認した場所(2008年9月)と枯死部位(白矢印)、B : 枯死部位、C : 枯死部位切除後(2008年10月)、D : 株元から短い枝が伸長(2009年8月)
E : 株元から伸びた短い枝から新芽が伸びる(2010年5月)、F : 秋芽が勢いよく伸育してほぼ完全に回復(2010年10月)

4 ヒメアカのクワシロ抑制力を考慮した茶園管理対策

本県におけるクワシロの発生は、8月中旬以降に茶株が坪状に枯死しクワシロの雄まゆで枝が白くなっていることで初めて気づくことが多く、その後の9～10月の幼虫発生期に薬剤を散布し、翌年一番茶摘採後に再度薬剤を入念に散布する対策がとられています。また、翌年一番茶摘採後に中切り、徹底散布を行うケースもしばしばで、こうした対策は非常に労力・コストがかかり、生産性を大きく損ないます。

今回報告した事例のように、8月下旬に茶園のクワシロ発生に気づいた際に、単に坪状にクワシロが発生する場合は、ヒメアカ成虫や幼虫が発生しているかどうかよく確認し、多数の個体が確認される場合、そのままヒメアカにクワシロの捕食を任せておくというのも一つの方法であると考えられます。ヒメアカホシテントウを活用した管理手順（図6）は、次の通りで、9月初旬までにクワシロの発生に気づき、坪状に枯死する部位が数カ所見られる程度の場合、寄生部位を確認してヒメアカが生息するようであれば、まずそのままとして、ヒメアカに10月までクワシロを捕食させま

す。10月以降、成虫は越冬のため茶園からいなくなるため、枯死枝を切り落として茶株が回復しやすいようにします。ついで、翌年3月下旬以降、クワシロ密度がまだ高ければヒメアカ越冬成虫が寄生部位に再び飛来して産卵し、越冬成虫と次世代幼虫とのクワシロの捕食が同時進行するため、5月末のクワシロ防除は不要で、6月末にはクワシロは消失します。

クワシロの抑制がうまくいかない場合は、次世代以降の防除時期になってはじめて対策をとればよく、しかも、7月末の防除時期はヒメアカの活動も活発になるため、クワシロの増加の有無を様子見し、8月下旬になんでもなおクワシロの雄まゆの発生増加がみられるようであれば9月末の防除時期にしっかり対策をとるといったパターンで十分と考えられます。また、化学薬剤を使用する際も、ジノテフラン粒剤やアプロードエースフロアブルなどは、ヒメアカに対してやや影響が少なく（小俣、2010）、こうした薬剤の選択はヒメアカの抑制力を活用しながらクワシロを防除する手法として有効と考えられます。しかし、ヒメアカに対する茶農薬の影響については知見が少なく、今後検討を進めていく必要があります。

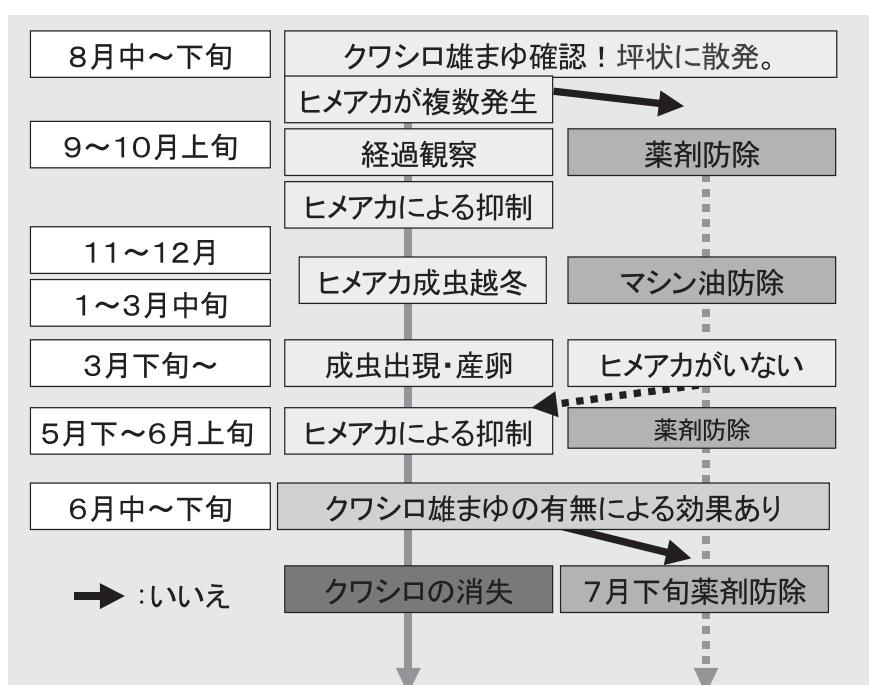


図6 ヒメアカのクワシロ抑制力を考慮した茶園管理対策.



3 雑草イネの発生と防除対策

農林総合研究センター水田研究所 米・麦担当

1. はじめに

雑草イネとは、生産を目的に田植えした「栽培イネ」以外の脱粒性の高いイネを指しており、いわゆる古代米とは異なります。世界的に発生しており「世界最強の水田雑草」と言われています(渡邊2012)。国内でも発生が拡大しており、近県では長野県で多く報告され対策も進んでいます(酒井2012)。また、茨城県、栃木県、千葉県でも発生が報告されています(平成24年度会議資料)。埼玉県でも平成24年度に発生が確認され、今後の蔓延が懸念されています。雑草イネが発生すると栽培イネの生育を阻害するだけでなく、収穫した米にも混入することから等級の低下や規格外になる恐れもあります。

2. 雑草イネの特徴

日本型の雑草イネは糠や玄米の色、稈長などの違いにより7つのタイプが報告されています(牛木ら2005)。昨年埼玉で発生が確認された雑草イネの特徴は次の通りでした。

- ①熟期がコシヒカリよりやや早い。
- ②脱粒が極易(写真1)。



写真1. 軽く握るだけで脱硫する。

③ふ先色は赤褐色。無芒(写真2)。

④玄米が薄い赤色。玄米の先端は糠と同じ赤褐色(写真3)。

このような特徴から、7つの分類のうちDタイプに近いものと思われます。

3. 防除等の対策

雑草イネが一度蔓延すると防除が困難です。仮に蔓延すると、99%除草しても毎年雑草イネは増えていく試算になります。したがって、まだ発生が少ないうちに防除を徹底します。

(1) 株ごと抜き取る。

防除の基本は雑草イネを見つけたら株ごと抜き取ることです。出穂が周りより早い、草丈が長い

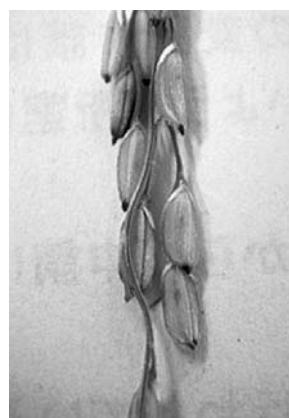


写真2. 糠の先端が赤褐色



写真3 左：雑草イネ 右：一般品種



写真4. 出穂が周りより早い雑草イネ



写真4. 雜草イネのひこばえ

(写真4)、ふ先が赤いなどの明らかに栽培した品種と異なるような特徴のある株はすぐに抜き取ります。穂だけ刈り取る場合は遅れ穂に注意してください。また、抜き取った株は放置せずに焼却処分するなど水田の周囲から完全に除去します。

(2) 収穫は雑草イネの確認できなかった水田から。

もし発生が確認された水田がある場合は、発生が確認されなかった水田から先に収穫します。また、耕耘など圃場管理作業も発生が認められなかった水田から行い、雑草イネの種が広がらないようにします。トラクタ、コンバインの清掃は特に丁寧に行います。

(3) 再生株に注意。

収穫後のひこばえに注意してください。もし、雑草イネのひこばえを見つけたら、すぐに刈り取って処分します。また、収穫後の田起こしは実施せず、そのままの状態で越冬させ、種を凍死させます。

(4) 種子更新を行う。

雑草イネの粉と一般種の粉を区別するのは困難です。したがって、自家採取した種粉は使用せず

に、購入種子を使います。

(5) 雜草イネに有効な除草剤を使う。

翌年の除草剤には、雑草イネに有効とされる除草剤を使用します（表1）。なお、実際の使用時には農薬のラベルを確認してください。

4. おわりに

雑草イネは1種類ではありません。また、新しいタイプもあるようです。とにかく、圃場をよく見回り、周りと異なる姿のイネを見つけたら迷わず抜き取ってください。抜き取ることが最も有効な初期対策です。また、中央農研が発行している「雑草イネ まん延防止マニュアル」などを参考に対策を実施してください。

5. 引用文献・参考文献

渡邊寛明 2012. グリーンレポート522.JA 全農
酒井長雄 2012. 雜草と作物の制御 vol8 16-

20. 日植調査研究協会関東支部

牛木純ら 2005. 育種学研究7(別1-2).391

表1. 雜草イネに有効と判断された除草剤（日本植物調節剤研究協会資料より）

薬剤名	10a当たりの使用量	雑草イネに有効な時期
アルハーブフロアブル	500ml	雑草イネ発生前
エーワン1キロ粒剤	1kg	
パンチャー1キロ粒剤	1kg	
ポッシブル1キロ粒剤	1kg	
ボディーガード1キロ粒剤	1kg	雑草イネ発生前～始 (鞘葉抽出期)
マキシー MX1キロ粒剤	1kg	
ワンオール1キロ粒剤	1kg	
ナイスミドル1キロ粒剤	1kg	

Ⅱ 協会だより

平成25年度農薬展示ほ現地設置状況

地域で問題となっている病害虫及び雑草について、使用時期・使用方法・効果の確認のため現地の要望に基づき農薬展示ほを下記のとおり設置しました。これらの展示結果は成績検討会後、成績書にまとめ各位の参考にいたします。

○病害虫防除剤

対象作物名	対象病害虫名	農 薬 名	農業メーカー名	展示場所	実施予定月
水稻	ウンカ類 カメムシ類	キラップ微粒剤F	クミアイ化学工業株	志木市	7月下旬
水稻	ウンカ類 カメムシ類	キラップ微粒剤F	クミアイ化学工業株	羽生市	7月中旬
水稻	いもち病	フジワンパック	日本農薬株	さいたま市	7月中旬
水稻	いもち病	フジワンパック	日本農薬株	松伏町	7月
水稻	内穎黴変病他	ルーチンアドスピノ箱粒剤	バイエルクロップサイエンス株	さいたま市	4月下旬
水稻	内穎黴変病	ルーチンアドスピノ箱粒剤	バイエルクロップサイエンス株	寄居町	6月
水稻	ウンカ類(ヒメトビウンカ)	ルーチンアドスピノ箱粒剤	バイエルクロップサイエンス株	羽生市	5月
水稻	内穎黴変病 ウンカ類	ルーチンアドスピノ箱粒剤	バイエルクロップサイエンス株	鴻巣市	5月
水稻	フタオビコヤガ・ウンカ類 (ヒメトビウンカ)	ルーチントレス箱粒剤	バイエルクロップサイエンス株	熊谷市	6月
水稻	紋枯病 ウンカ類(ヒメトビウンカ)	ルーチンアドスピノGT箱粒剤	バイエルクロップサイエンス株	上里町	6月
水稻	紋枯病 ウンカ類(ヒメトビウンカ)	ルーチンアドスピノGT箱粒剤	バイエルクロップサイエンス株	深谷市	6月
水稻	紋枯病 ウンカ類	ルーチンアドスピノGT箱粒剤	バイエルクロップサイエンス株	行田市	6月
水稻	カメムシ類	スターダム箱粒剤	MIE1007粒剤研究会	さいたま市	4月下旬
水稻	カメムシ類	スターダム箱粒剤	MIE1007粒剤研究会	久喜市	4月
水稻	カメムシ類	スターダム箱粒剤	MIE1007粒剤研究会	松伏町	5月
水稻	紋枯病 フタオビコヤガ	シャリオ箱粒剤	日産化学生業株	鴻巣市	5月下旬
水稻	フタオビコヤガ ツマグロヨコバイ	シャリオ箱粒剤	日産化学生業株	鴻巣市	5月末

対象作物名	対象病害虫名	農 薬 名	農薬メーカー名	展示場所	実施予定月
水稲	紋枯病、いももち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ フタオビコヤガ 茎疫病	シャリオ箱粒剤	日産化学工業(株)	上里町	6月
ダイズ		クルーザー MAXX	シンジエンタジヤパン(株)	白岡市	6月
エダマメ	カヌムシ類	カスケード乳剤	BASF ジャパン(株)	草加市	6月上旬
カシショ	ナカジロシタバ ハスモンヨトウ	ファルコンフロアブル	ダウ・ケミカル日本(株)	三芳町	8月中旬
キュウリ	灰色かび病 うどんご病	ファンベル顆粒水和剤	ファンタジスタ普及会	深谷市	9月
キュウリ	灰色かび病 うどんご病	ファンベル顆粒水和剤	ファンタジスタ普及会	上里町	9~10月
キュウリ	ハダニ類	モベントフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	深谷市	9月
キュウリ	ハダニ類	モベントフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	加須市	5月
キュウリ	ベト病	ジャストフィットフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	上里町	5月
キュウリ	ベト病	ジャストフィットフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	加須市	10月
キュウリ	うどんご病	ガッテン乳剤	大塚アグリテクノ(株)	杉戸町	10月
キュウリ	ベと病	ベネセット・カンパネラ水和剤	住友化学(株)	羽生市	10月
キュウリ	ベと病	ベネセット・カンパネラ水和剤	住友化学(株)	蓮田市	9月
トマト	コナジラミ類他	ディアナ SC	協友アグリ(株)	さいたま市	9月下旬
トマト	コナジラミ類	プレバシンフロアブル5	プレバシン5協議会	ときがわ町	9月
トマト	コナジラミ類	モベントフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	さいたま市	9月下旬
ナス	チヤノホコリダニ	モベントフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	ときがわ町	7月
ナス	ハダニ類あるいはチヤノホコ リダニ	モベントフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	蓮田市	8月
ナス	コナジラミ類、アザミウマ類 ハモグリバエ類、ハスモンヨ トウ、オオタバコガ	ディアナ SC	協友アグリ(株)	蓮田市	7月
ネギ	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	ダウ・ケミカル日本(株)	さいたま市	6月
ネギ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	アドマイヤーフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	さいたま市	8~9月
ネギ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	アドマイヤーフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	さいたま市	3月下旬
ネギ	ハイマダラノメイガ アブラムシ類 ネギアザミウマ	アドマイヤーフロアブル	バイエルクロップサイエンス(株)	入間市	5月
プロッコリー		ジェリボフロアブル	シンジエンタジヤパン(株)	本庄市	8~9月

対象作物名	対象病害虫名	農薬名	農薬メーカー名	展示場所	実施予定期
ブロッコリー	ハイマダラノメイガ アブラムシ類 ネギアザミウマ	ジユリボフロアブル	シンジェンタジャパン(㈱)	深谷市	8月
ブロッコリー	ハスモンヨトウ コナガ アオムシ	ファルコンユースフロアブル	ダウ・ケミカル日本(㈱)	本庄市	9月
ブロッコリー	ハスモンヨトウ コナガ アオムシ	ファルコンエースフロアブル	ダウ・ケミカル日本(㈱)	蓮田市	9月
ブロッコリー	ハイマダラノメイガ アオムシ ハスモンヨトウ	ガードナー フロアブル	バイエルクロップサイエンス(㈱)	本庄市	8~9月
ブロッコリー	コナガ ハイマダラノメイガ アオムシ	プレバサン粒剤	プレバサン粒剤協議会	川越市	9月
ブロッコリー	コナガ ハイマダラノメイガ アオムシ	プレバサン粒剤	プレバサン粒剤協議会	入間市	9月
ブロッコリー	コナガ ハイマダラノメイガ アオムシ	プレバサン粒剤	プレバサン粒剤協議会	久喜市	8~9月
ブロッコリー	コナガ アオムシ	トルネードエースDF	トルネード普及会	蓮田市	9月
ブロッコリー ネギ ダイコン いずれか1品目	シロイチモジヨトウ(ネギ) コナガ・アオムシ(ブロッコリー) コナガ・アオムシ・ヨトウムシ・ハイマダラノメイガ(ダイコン)	トルネードエースDF	トルネード普及会	入間市	10月
キャベツ	コナガ ハイマダラノメイガ アオムシ	プレバサン粒剤	プレバサン粒剤協議会	久喜市	8~9月
レタス (非結球レタス)	菌核病	シグナム WDG	BASF ジャパン(㈱)	蓮田市	10月
ダイコン	ハイマダラノメイガ	プレバサンフロアブル5	プレバサンフロアブル5協議会	三芳町	9月
イチゴ	炭そ病他	ファンタジスタ顆粒水和剤	ファンタジスタ普及会	さいたま市	9月下旬
イチゴ	炭疽病 灰色かび病	ファンタジスタ顆粒水和剤	ファンタジスタ普及会	川島町	6月
イチゴ	アザミウマ類	モベントフロアブル	バイエルクロップサイエンス(㈱)	久喜市	4月
イチゴ	うどんこ病	ガットテン乳剤	大塚アグリテクノ(㈱)	春日部市	11月
イチゴ	うどんこ病	ガットテン乳剤	大塚アグリテクノ(㈱)	久喜市	10月

対象作物名	対象病害虫名	農薬名	農薬メーカー名	展示場所	実施予定月
野菜類 (クワイ)	うどんこ病	クリーンカッブ	クミアイ化学工業株	さいたま市	6月下旬
花き類	コナガ、オオタバコガ、ハス モンヨトウ、ヨトウガ	コンヒューバーザーV	協友アグリ株	松伏町	6月
ナシ	シンクイムシ類 ハマキムシ類 チャノキイロアザミウマ	デイアナ WDG	協友アグリ株	加須市	7月
ナシ	黒星病 開花前後散布	ファンタジスタ顆粒水和剤	ファンタジ스타普及会	鴻巣市	5月
ナシ	黒星病 開花前後散布	ファンタジ스타顆粒水和剤	ファンタジ스타普及会	神川町	4月
ナシ	シンクイムシ類 ハマキムシ類 チャノキイロアザミウマ	デイアナ WDG	協友アグリ株	久喜市	4月
ナシ	黒星病 開花前後散布	ファンタジ스타顆粒水和剤	ファンタジ스타普及会	春日部市	5月
ナシ	黒星病 赤星病	フルーツセーバー	フルーツセーバー協議会	加須市	5月
チャ	チャトゲトコナジラミ	デイアナ SC	協友アグリ株	狭山市	5月
チャ	チャトゲトコナジラミ	デイアナ SC	協友アグリ株	所沢市	5月

○除草剤

対象作物名	対象雑草名	農薬名	農業メーカー名	展示場所	実施予定月
水稻	水田一年生雑草	サラブレッドKAI フロアブル	協友アグリ株	熊谷市	6月
水稻	水稻一年生雑草 ホタルイ	バッチャリ1キロ粒剤	協友アグリ株	羽生市又は行田市	5月初旬～下旬
水稻 (直播)	水稻一年生雑草 ホタルイ	バッチャリ1キロ粒剤	協友アグリ株	羽生市	5月中旬
水稻	クログワイ	ピクトリーZ フロアブル	協友アグリ株	寄居町	7月
水稻	水田雑草	ボデーガードフロアブル	バイエルクロップサイエンス株	上里町	7月
水稻	水田雑草	ボデーガードフロアブル	バイエルクロップサイエンス株	深谷市	6月
水稻	水田一年生雑草、マツバイ、 ホタルイ、ウリカワ、ミズガ、 ヤツリ、ヒルムシロ、アオミ ドロ、藻類	サスケラジカルジャンボ	BASF ジャパン株	蓮田市	5月
水稻	水田一年生雑草、マツバイ、 ホタルイ	メテオフロアブル	メテオ普及会	久喜市	5月
水稻	ホタルイ	ライジンパワーフロアブル	日本農業株	蓮田市	5月
水稻	水田一年生雑草、マツバイ、 ホタルイ、ウリカワ、ミズガ、 ヤツリ、オモダカ、ヒルムシロ	ブイゴールSM1キロ粒剤	北興化学工業株	羽生市	6月
小麦	一年生雑草	キックボクサー細粒剤F	シンジエントジャパン株	坂戸市	11月
小麦	一年生雑草	シナジオ乳剤	ダウ・ケミカル日本株	美里町	12月
ダイズ	一年草雑草	ワシクロスWG	石原バイオサイエンス株	秩父市	6月下旬
ニンジン	一年生雑草	ワシクロスWG	石原バイオサイエンス株	新座市	7月中旬
ネギ	一年生雑草 (ツユクサ科、カヤツリグサ 科、キク科、アブラナ科を除く)	トレファノサイド粒剤2.5	ダウ・ケミカル日本株	さいたま市	6月上旬
ナシ	一年生雑草 多年生雑草	ザクサ液剤	ザクサ普及会	久喜市	5月
水稻畦畔	多年生雑草 多年生雑草	ザクサ液剤	ザクサ普及会	久喜市	6～7月

